

鎌倉市商工業振興計画推進委員会第2回会議録

| | |
|---|--|
| <p>【配布資料】</p> <p>資料1 鎌倉の商工業を取巻く現状と課題</p> <p>資料2 市内事業所数の推移</p> <p>資料3 鎌倉彫事業所数・出荷額の推移</p> <p>資料4 iPark メンバーシップ</p> <p>資料5 深沢地域整備事業 土地利用計画（案）</p> <p>資料6 鎌倉市の商工業支援施策</p> | |
| <p>令和元年度第2回鎌倉市商工業振興計画推進委員会 会議要旨</p> | |
| <p>日時：令和元年（2019年）12月18日（水）午後3時から午後5時まで</p> | |
| <p>場所：402会議室</p> | |
| <p>出席委員：青山委員長、高橋（玲）委員、添野委員、高橋（令）委員、池松委員、北原委員、村上委員（欠席：中村副委員長） 計7名／8名</p> <p>事務局：齋藤部長、曾根次長、田邊課長、角田係長、内田</p> <p style="text-align: right;">合計12名</p> | |
| <p>商工課長</p> | <p>（中村副委員長の欠席を報告するとともに、委員の過半数の出席により委員会が成立していることを報告）</p> |
| <p>議題1 鎌倉の商工業を取り巻く現状と課題について</p> | |
| <p>事務局</p> | <p>（資料1「鎌倉の商工業を取り巻く現状と課題」に基づき内容説明） （資料2「市内事業所数の推移」～資料6「鎌倉市の商工業支援施策」に基づき内容説明）</p> |
| <p>〇〇委員</p> | <p>伝統的工芸品、鎌倉彫ですが、販路拡大のために海外の旅行社に売り込むのが効果的だと思います。例えばバスの団体客を鎌倉彫会館に横付けさせるなど。ここから広がっていけば、前回他の委員さんの発言にあった著名旅行ガイドにも載るのではと思っています。</p> |
| <p>〇〇委員</p> | <p>通信、ネット販売などはどうなのでしょう。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>商品、価格が表示されたホームページはありますが、どの程度ネット販売等を行っているかは把握できていません。ふるさと寄付金の返礼品には取り上げられています。</p> |
| <p>〇〇委員</p> | <p>鎌倉彫は、ネット販売などに馴染まないものなのでしょう。</p> |
| <p>〇〇委員</p> | <p>高価であり、実物の質感などが重要な要素となるため、いきなりネットで買うというのは難しいものがあると思います。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>最初にネットで見て、店で実物を確認して、ネットで最安値の物を買うというサイクルがありますので、入口としてホームページの整備の重要性もあるかと思っています。</p> |

鎌倉市商工業振興計画推進委員会第2回会議録

| | |
|------|--|
| 〇〇委員 | 業界団体で取り組むのが効果的と思いますが、鎌倉彫に団体はありますか。 |
| 事務局 | 伝統鎌倉彫事業協同組合というのがあります。 |
| 〇〇委員 | この先その組合との連携も考えられるのでしょうか。 |
| 委員長 | 伝統工芸に指定されていると国からの補助金等がありますので、様々な活動が可能となると思います。職人さんの集まりですので、販売に関しては若干弱いところもあるかと思いますが、その辺をフォローしていければいいのではないかと思います。 |
| 〇〇委員 | 鎌倉彫は、彫師と塗師がいるので、組合も別の可能性があります。工程は20～30工程もあるため、値段も高くなります。小皿一枚が何万円というものもあり、訪日してお土産にというのも難しいものがあるかと思います。前回も申しましたが、この辺りが後継者不足にも繋がってきています。 |
| 委員長 | 他の伝統工芸では、問屋、販売店などのそれぞれの組織が企画をするなどしていますが。 |
| 〇〇委員 | 販売に関して言えば、組織ではなく、個々の事業所が動いている状況です。 |
| 〇〇委員 | 資料3を見ますと、7年の間に出荷額が3分の1に減っています。また、組合員数の変遷、その構成員の年齢など背景を総合的に考えていかないといけないと思います。ツアーで来てもらうのはいいのですが、組合内の連携が出来ていないと、受け皿がないということになりかねません。組合としてどこまでやるのか、資料を集めるなどして確認しないといけないと思います。中には組合活動とは別に、個人でインターネット販売などに取り組んでいる人もいるかもしれません。鎌倉彫のパフレットは、組合で作ったものですか。 |
| 事務局 | 市で組合の協力を得て作成しました。 |
| 〇〇委員 | まず重要なのは情報発信なので、国の内外を問わずに如何に知ってもらうかを私達は考えていかないといけないと感じます。 |
| 〇〇委員 | 市内の事業所の推移を資料2で示していますが、どのような産業が雇用の受け皿になっているかなど、鎌倉の産業構造などの特徴を捉えていく必要があると思います。 |
| 〇〇委員 | 資料4の「iPark」ですが、鎌倉市としてどのように活用していきたいのか方針はありますか。それを踏まえた上での「深沢地域整備事業」になるかと思いますが。 |
| 商工課長 | 資料5のA3の「深沢地域整備事業 土地利用計画（案）」に「藤沢市 |

鎌倉市商工業振興計画推進委員会第2回会議録

| | |
|------|---|
| | 村岡地区との広域のまちづくりの取組みとしては、神奈川県、鎌倉市、藤沢市に加え、医療、健康分野の研究開発拠点である湘南アイパークを運営する武田薬品工業と湘南鎌倉総合病院の5者間において覚書を取り交わし、ヘルスイノベーションの最先端拠点形成、ヘルスケア分野の産業創出等について連携、協力して研究を進めている。」となっています。 |
| 委員長 | 最終的には鎌倉の産業構造をどのようにしていくか、ということも挙げていくことになるかと思いますが、ここではそれを大上段に構えるのではなく、商店街、中小企業をどうするか、といったことからひとつずつ積み上げ、ビジョンの肉付けをしていけばいいのではと思います。 |
| 〇〇委員 | 資料1の3ページ「3 製造業」に「(1)大規模な工場の跡地において共同住宅等への土地利用転換が行われており、産業の活力の低下や、雇用の場の減少が懸念されています。」「(2)新規に立地したいという企業が立地する産業用地がありません。」とありますが、これは需要に合った用地がないため、このような事態になっているということでしょうか。 |
| 事務局 | 数件、鎌倉に工場を持ちたいとの問い合わせはありましたが、紹介できる土地がないのが現状です。 |
| 〇〇委員 | 企業立地整備費等補助金は、情報通信業に限っているようですが、その業種の企業を集めたいとの意向があったのでしょうか。 |
| 事務局 | 企業立地等促進条例に基づく税の軽減は、ある程度の投下資本をすることが条件となりますが、情報通信業はそれほどの初期費用を必要としないため対象とならない事例が多く、それに代わる制度をとということで、企業立地整備費等補助金の制度を設けて情報通信業を集積させようとの意図があります。また鎌倉は、住工混在の状況があり、騒音等に対する苦情もある中で、それらが少ない業種ということもあります。 |
| 〇〇委員 | 今後の鎌倉の商工業支援施策を考えていくにあたって、現行の施策を資料6にまとめたのでしょうか。 |
| 事務局 | 資料6は、商工課で実施している重点事業（商工業振興事業）を挙げたものです。これ以外にも商店街を対象とした事業補助金、中小企業に対する融資事業などがあります。 |
| 〇〇委員 | 資料6に挙げられた事業は令和2年度、予算化されているということでしょうか。 |
| 事務局 | 予算化しています。 |

鎌倉市商工業振興計画推進委員会第2回会議録

| | |
|------|---|
| | <p>只今検討していただいている計画の内容については、令和3年度予算要求前に策定していただき、それを基に令和3年度の予算に反映していきたいと考えています。</p> |
| 委員長 | <p>現在の予算要求状況について説明してください。</p> |
| 商工課長 | <p>現在、各部局で予算要求内容を固めている段階です。この後、財政課の査定、理事者（市長、副市長）の査定を経て、議会への提案といった流れになります。</p> |
| 〇〇委員 | <p>「情報通信業の集積」というのは、例えば野村の跡地に市が集積施設を作って集めるといったものではないのですね。</p> |
| 商工課長 | <p>エリア的なものではなく、あくまで金銭的な補助事業です。</p> |
| 〇〇委員 | <p>資料6で、例えば「商工業元気アップ事業」で「該当なし」というのは、応募が無かったということでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>表題は「応募者」となっていますが、平成30年度の創業部門の応募は4件で、認定基準に至った応募者がいなかったということです。</p> |
| 〇〇委員 | <p>周知方法について、年々工夫はしてきているのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>前回お配りしたリーフレットなどを利用して周知を図っているところですが、伸び悩んでいる状況です。</p> |
| 委員長 | <p>今年基準点に達しなかった応募者に、窓口でブラッシュアップをして、来年に向かわせるといった手法がよく見られますが。</p> |
| 事務局 | <p>伴走型支援とはなっていませんが、審査委員からの提案に対する改善点を応募者にフィードバックはしています。</p> |
| 〇〇委員 | <p>予算措置件数が少ないなど、ハードルが高いと応募希望者が尻込みをしてしまうといったことが見られますが。</p> |
| 事務局 | <p>創業、ステップアップともに、予算措置は1件となっています。</p> |
| 〇〇委員 | <p>認定イコール補助であれば1件でもいいと思います。仕組みが分からないと議論できないので、お聞きしました。 因みに認定件数の枠を増やす考えはありますか。</p> |
| 商工課長 | <p>予算規模を拡大する、また現在の予算規模で1件当たりの補助金額を下げてまでとは考えていません。現在の事業規模で、魅力的な内容にしたいと考えています。</p> |
| 〇〇委員 | <p>認定した事業の成果について把握していますか。</p> |
| 商工課長 | <p>認定の3年後に中小企業診断士のアドバイザーによる、フォローアップ診断を実施しています。</p> |
| 〇〇委員 | <p>認定した事業が1件としても、その事業者が成長した姿を魅力的に見せていければ、認識もされていくものと思います。</p> |

鎌倉市商工業振興計画推進委員会第2回会議録

| | |
|------------------------------|---|
| 商工課長 | 認定した事業をホームページで紹介はしていますが、大々的には行っていませんので検討したいと思います。 |
| 〇〇委員 | 新しい鎌倉ブランドを作っていくのもいいと思います。補助金など予算をかけるのもいいですが、インターネット投票などを利用したブランド認定も一つの方策と考えます。認定されたブランド品は、商店街に加盟している店舗でないと売れないなど、連携もいいのではないのでしょうか。 |
| 〇〇委員 | 鎌倉推奨品のパンフレットはありますが、商品を一堂に展示、販売している場所はありません。 |
| 市民生活部長 | 今日御欠席の中村副委員長が委員長を務めている、推奨品選考委員会で今年度も何品目かの製品等が認定されました。これらを所謂鎌倉ブランド品として売り込んでいくという仕組みになっています。鎌倉駅に二か所ショーケースがあってそこに展示されますが、そこでは買えないのがネックかと思います。そこで、売り場を行政、販売を認定委員会といった仕組みにできないかとの要望をいただいていますので、これを計画に盛り込むことは十分に考えられます。 |
| 〇〇委員 | 例えば推奨品を行政で認定する、ということは考えられないでしょうか。 |
| 委員長 | ブランドは消費者の心の響きなので、行政でというのは難しいと思いますが。 |
| 〇〇委員 | 行政の後押しがないと中々全国区、地域のブランドにはなりにくいと思います。資料6の「経営基盤強化事業費補助金」で展示会等への出展に対する補助をしていますので、今後考えられるのではと思います。 |
| 〇〇委員 | 134号線にあれだけの車が流入してきているので、道の駅とまではいなくても何処か鎌倉のお土産、郷土品などを販売できる場所があればと思います。 |
| 〇〇委員 | 行政で持っているアンテナショップ的なものはありますか。 |
| 〇〇委員 | 鎌倉駅西口の江ノ電ビル四階に観光協会がありますが、その一部を貸し出すとの話があります。 |
| 議題2 鎌倉の商工業の将来ビジョンについて | |
| 事務局 | 第1回にお配りした資料4「鎌倉市商工業振興計画イメージ」の「3 鎌倉の商工業の将来ビジョン」を「現状と課題」を踏まえて皆様で検討していただき、「4 施策の方向性と具体的な取組」に繋げていければと考えています。 |
| 〇〇委員 | 10年後の鎌倉市の商工業の在り方をビジョンとした計画を策定するにあたって、整理の仕方はいろいろあると思いますが、どのように進 |

鎌倉市商工業振興計画推進委員会第2回会議録

| | |
|------|--|
| | めていくか決めた方がいいのではないかと思いますがいかがでしょうか。 |
| 委員長 | 只今の〇〇委員から御提案がありました、いかがでしょうか。 |
| 事務局 | 事務局としては、現状と課題を踏まえ、既存の商工業の活性化と新たな産業を呼び込んでいく形と両方を見据えたものをと考えています。 |
| 〇〇委員 | 市民の立場としては、市として様々な商工業振興施策に取り組んでいただいているのが伝わってこないというのが実感です。市の情報発信力の高め方もこの場で検討していければと思います。 |
| 〇〇委員 | 小町通りでいえば、従来の店舗は廃業し、市外資本の店舗、海外資本による貸店舗が増えていく、また、日帰り観光が多い中でどのように鎌倉の特徴を出していけばいいのか苦労しています。 行政との接点も少ないのが現実です。我々が相談に行かないのも悪いと思っています。 |
| 委員長 | 行政は様々なメニューを用意しているかと思いますが、使う人と使わない人と分かれるかと思いますが。 |
| 〇〇委員 | 相談に来てもらった時に、どう受けられるかとの施策も含めてここで検討していければと思います。 |
| 委員長 | 全体的なものも含めて、御意見等ありますでしょうか。 |
| 〇〇委員 | 資料1にも記載がある「SDGs」について、他都市の取組事例で参考になるものがあれば、次回、御紹介いただければと思います。 |
| 〇〇委員 | 先日、市主催で医療就職面接会を実施したかと思いますが、就職面接会の実績を教えてください。 どのようなPRをして、どれだけ集まったかの分析も地味ではあるけれども必要と思います。 |
| 商工課長 | 平成30年度、参加企業9社、参加者15名、就職1名となっています。 令和元年度は集計中ですが、平成30年度を下回っています。 市の情報伝達機能は、広報、ホームページ、ツイッターが主流となっています。十分とはいえませんので、この計画にその辺も盛り込めればと思っています。 |
| 委員長 | 先程、発信力とのお言葉がありましたが、その辺もうまく盛り込めればと思います。 |
| 〇〇委員 | 「第3次鎌倉市総合計画」などとの関連はどうなっているのでしょうか。 |
| 商工課長 | 第1回の資料4の中に「計画の位置付け（イメージ）」がありますが、位置付けは、「第3次鎌倉市総合計画」、「第4期基本計画」、「鎌倉市商工業振興計画」の流れになっています。 |
| 〇〇委員 | 平成31年度までの「鎌倉市商工業振興指針」がありますが、これに代 |

鎌倉市商工業振興計画推進委員会第2回会議録

| | |
|------|---|
| | わるものとの認識でよいのでしょうか。 |
| 商工課長 | そのとおりです。 |
| 委員長 | この委員会の進め方、方向性についてはよろしいでしょうか。 令和3年以降の鎌倉市の商工業振興について、第1回にお配りした資料4「鎌倉市商工業振興計画イメージ」に肉付けしながら、新しいものも盛り込んでいきたいと思っています。 |
| 〇〇委員 | 第3回、次回に素案の確認ということは、それまでに素案を事務局で作ってくれて、我々はそれに対して意見等をということによろしいのでしょうか。 |
| 商工課長 | 「鎌倉の商工業を取巻く現状と課題」及び「鎌倉の商工業の将来ビジョン」に対して、1月末を目途に各委員から御意見、御提案をいただきます。いただいた御意見等を踏まえて委員長とも相談の上、素案を作成し、第3回委員会の検討事項とさせていただきます。 |
| 事務局 | 次回の日程については、後程、各委員に確認させていただきます。 |
| | 了 |